

広報

よっかいち

YOKKAICHI

2

No.1422 2月上旬号
平成27年(2015年)2月5日発行
編集・発行/四日市市役所広報広聴課
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号
市役所電話番号案内 ☎354-8104

特集

四日市市の公共交通 育てよう!市民の暮らしを守る公共交通

表紙「四日市の文化財」
旧四日市市立図書館

スマートフォンなどを使えば表紙に関連する動画が見られます (見方は13ページの「広報紙で動画を見よう」をご覧ください)



未来につなげよう
あすなろう鉄道

育てよう! 特集 / 四日市市の公共交通

市民の
暮らしを
守る

公共交通



通勤・通学や通院、買い物など、私たちの日常生活に欠かすことができない公共交通。公共交通は、安全で安心して利用できる身近な交通手段として、重要な役割を担っています。私たちに必要な公共交通について考えてみましょう。



知っていますか?

四日市市の公共交通

市内の鉄道には、近鉄線(名古屋線、湯の山線、内部・八王子線)、三岐鉄道三岐線、JR関西本線、伊勢鉄道の7路線34駅と、バスについては、三重交通バス、三岐鉄道バス、自主運行バス、NPO法人が運行しているバスなど、計25路線があります。

市内の公共交通は充実しているように見えますが、利用者離れや人口減少が今後も懸念されます。

今、自分で自動車を運転したり、誰かに乗せてもらったりしている人も、いつまでもその状況が続くとは限りません。

■ 四日市市の公共交通網図





公共交通の利用者は10年で約9%減

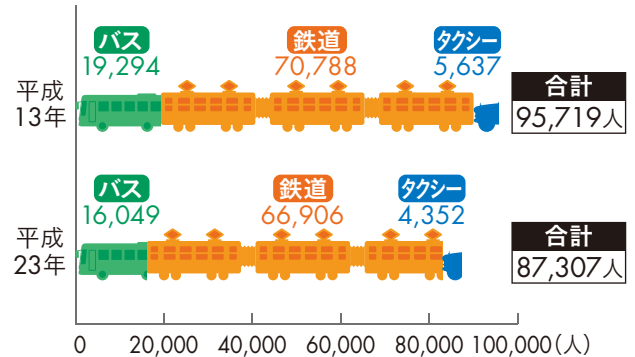
公共交通の利用者は、自動車の普及が進むにつれ、減少傾向にあり、10年で約9%減少しました。その中でも電車よりバスの利用者の減少が著しく、10年で約17%も減少しました。

利用者の減少により、バス路線の運行継続が難しくなり、路線が廃止され、交通空白地帯になるなどの問題が生じています。そのため本市では、平成12年頃から市が費用を負担して、バス事業者に運行を委託する「自主運行バス」を3路線で走らせています。

現在も公共交通離れは進んでいます。このまま乗らなければ、赤字路線が増え続け、いずれ公共交通はもっと衰退していく可能性が出てきます。

■公共交通(バス+鉄道+タクシー)の利用者数

(資料:三重県「三重県統計書」データ、事業者ヒアリングデータを基に作成)



なぜ公共交通が必要なのか?

公共交通であっても、利用客の少ない路線は、廃止されてしまうのが現実です。しかし、自動車を運転していない高齢者や免許を持たない通学者などの移動を支えるために、公共交通は不可欠です。公共交通を守っていくことは、交通弱者の移手段の確保、市民の生活を守ることにつながります。

公共交通のメリット

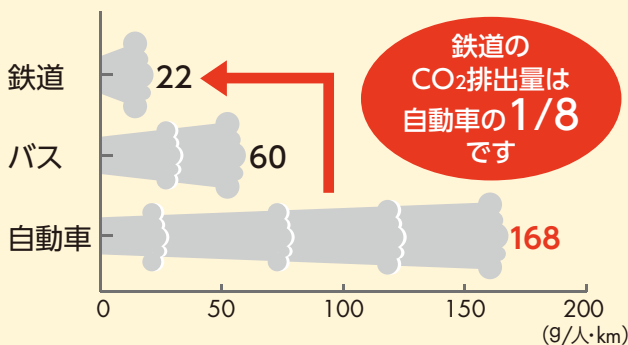
1 環境に優しい!

一人を1km運ぶと仮定して、「電車」と「バス」と「自動車」の二酸化炭素排出量を比較してみると、

- 「電車」は「自動車」の約1/8
- 「バス」は「自動車」の約1/3 で済みます。

二酸化炭素の排出を減らすために自動車をエコカーに変えることも一つの方法ですが、電車やバスなどの公共交通を利用することは、身近な環境対策の一つです。

■一人を1km運ぶのに排出するCO₂
[資料:国土交通省ホームページ「運輸部門における二酸化炭素排出量」(2012年度)]



公共交通のメリット

2 渋滞の緩和

通勤時間帯などに、マイカーの利用者が減ると道路の交通量が減り、通行がスムーズになります。



公共交通のメリット

3 安全で快適に移動

公共交通は、運転手(士)の運転で移動できるため、乗車中に読書をしたり、景色を眺めたりしながら移動できます。

また、鉄道での死亡事故は、自動車の約1/400の確率であり、安全に移動できます。



公共交通を みんなで守るために

～路線の存続・維持に向けた取り組み～



駅前広場の整備

利用しやすい公共交通のための
環境整備を目指して

駅から離れたところに住む人たちにも、電車を利用してもらいやすくなるよう、駅前広場の整備による利用環境の改善を図ります。

具体的には、西日野駅や内部駅の整備、近鉄四日市駅やJR四日市駅の駅前広場の再整備を検討しています。



近鉄・三岐富田駅の駅前広場

にぎわいの 創出

公共交通を利用する目的づくり

目的地へ行くときに、公共交通を移動手段として利用してもらうため、市民の皆さんと協力してイベントなどを企画しています。シティロードレース、大四日市まつり、歩行者天国、エキサイトバザール、花火大会などの開催時には、ぜひ公共交通をご利用ください。



歩行者天国

水沢・桜地区でバスの運行実験



既存の公共交通網を補完する市民主体の取り組みとして、昨年11月20日から12月17日まで、宮妻口から桜駅の区間で、バスの運行実験を行いました。通勤・通学をターゲットに、6時20分を始発としてマイクロバスを運行しました。

今後、路線化に向けた課題解決に取り組みます。



バスの乗り方 教室の開催

公共交通の果たす役割を知る

バスに慣れ親しんでもらい、バスの良さを実感してもらうとともに、環境に優しいバスについて理解を深めてもらうため、「乗り方教室」や「利用促進PR活動」を三重運輸支局・(公社)三重県バス協会・三重交通(株)と市が協働で行っています。昨年、川島地区で「バスの乗り方教室」を開催した時は、多くの親子の参加がありました。



ノーマイカーデー の推進

渋滞の緩和と環境対策のために

市では、月1回、通勤方法を公共交通機関の利用に変更したり、1台の自動車に乗り合わせて出勤するようにしたりと、ノーマイカー通勤を推進しています。

また、霞ヶ浦地区の企業などで構成する霞ヶ浦地区環境行動推進協議会(通称KIEP'S)でも、月1回、通勤方法を公共交通機関や自転車など、環境負荷の低い交通手段に変更するエコ通勤デーを実施しています。



コミュニティー バスの運営

交通空白地帯を埋めるために

バス路線が廃止されたり、既存の公共交通が不便だったりする地域の移動手段を確保するために、コミュニティーバスを運営することも考えられます。

民間の有志でNPO法人を設立し、コミュニティーバス「生活バスよっかいち」を運行している事例もあります。

また、不採算で廃止となった山城富洲原線、神前高角線、磯津高花平線の3路線では、市が経費を負担して「自主運行バス」を運行しています。



水沢地区まちづくり
構想策定委員会
こがい
小粥 吉美さん

水沢地区の住民は自動車移動する人が圧倒的に多く、バスの本数減少もやむを得ないと受け止めていました。運転免許がない高校生は大変不便な状況でした。そこで、通学の支援を主な目的として、今回の社会実験を考えました。

地区の皆さんには組回覧やポスター掲示、小・中学校を通じてのチラシ配布などで周知を図り、四日市西高等学校や近鉄さんにも直接お声掛けしました。結果として、社会実験がちょうどみじ祭りの時期だったこともあり、地区内の住民だけでなく、地区外の人たちにもたくさん利用していただき、好評でした。今後も、水沢地区の貴重な公共交通であるバスを守っていくために、利用促進と実験路線の本格運行を目指して、取り組んでいきたいと思っております。

通学は普段、両親に自動車での送迎を頼りだりしていたけど、このバスがあれば自分で行けるので良かったです。土日いろいろな人が乗っていたので、社会実験で終わらず、本当にバスが走ってくれたら、高校生や年配の人にも本当に助かると思います。



四日市西高等学校
鎌田 有美子さん

内部・八王子線は 公有民営方式で 存続します



近鉄内部・八王子線沿線には、笹川団地などの大規模住宅団地、四日市南高等学校、四日市四郷高等学校、海星中学・高等学校、四日市工業高等学校、西日野にし学園など多くの学校や、医療機関があり、年間約360万人の利用があります。

数年前、近畿日本鉄道(株)から、内部・八王子線の今後のあり方を検討したいとの申し出があり、市と近畿日本鉄道(株)とで、内部・八王子線の存続問題について何度も話し合いを行いました。

市民にとってかけがえのない交通手段

市としては、この鉄道が、

- 高齢者や学生などの交通弱者にとって、日常生活に欠かせない移動手段であること
- 道路の交通渋滞を招かない交通手段であること
- 公共交通で走る電車の中では最も線路幅の狭い特殊狭軌線“ナローゲージ”(762mm)の鉄道として、全国でも3路線しかない貴重な路線であり、観光資源としても活用可能なこと
- 大正元(1912)年に開業された歴史ある路線であること
- 環境にも優れた交通機関であること

- 「鉄道駅を中心としたまちづくり」を進める上で必要不可欠であること

などを踏まえ、本市にとってなくてはならない公益性の高い交通手段であると考え、近畿日本鉄道(株)と協議しました。その結果、市が鉄道施設や車両を所有し、近畿日本鉄道(株)と市が出資して設立する新会社が鉄道の運行を行う「公有民営方式」に転換することで、鉄道として存続させることに決めました。

四日市あすなろう鉄道(株)を設立し、運営

新会社名は**四日市あすなろう鉄道株式会社**。「明日に向かって(未来に向かって)」や「ナローゲージ」を意味しており、平成27年春からの運行を目指しています。

国などの補助金や近畿日本鉄道(株)からの拠出金、市の支出などで必要な経費を負担し、持続的な運営を行っていきます。

なお、運賃改訂で利用者の皆さんのご負担が増えますが、存続のため、ご協力をお願いします。

あすなろう鉄道を持続的に運営していくために、
皆さん、積極的に利用してください

自分たちで できることから始める



平成21年から夏と冬の年2回、四日市南高等学校・四日市四郷高等学校・西日野にし学園の生徒さんたちが共同で、花いっぱい運動を行っています。昨年12月19日も24人の生徒さんと先生たちで、28個のプランターの設置やチューリップの球根植えなどが行われました。

西日野駅を利用している近隣の学校が協力し合うことは、とてもいいことだと思います。6年続けているこの活動が今後も続けば、もっと西日野駅がきれいになると思います。

これからも、全国に3つしかない貴重な線路の電車が地域の宝物だということを、みんなに伝えていきたいと思います。



四日市四郷高等学校
矢田百恵さん

みんなで育てる公共交通

公共交通は、これからのまちづくりにとって、とても重要な移動手段の一つです。その活用法によっては、地域に魅力や活力を生み出す起爆剤にもなります。

市内でも、公共交通を通して、いろいろな取り組みに着手している団体があります。

内部・八王子線を盛り上げる

誰でも安心して利用できる公共交通を将来の四日市市に残すために、公共交通のあり方や内部・八王子線についてのシンポジウム、駅の清掃・沿線ウォーキング、小古曾駅や日永駅での花植えの開催など、さまざまな活動に、多くの市民の皆さんが取り組まれています。

内部・八王子線は、現在1日約1万人が利用している大切な交通網です。私たちは2012年5月にNPO法人を設立し、内部・八王子線をはじめとする公共交通を盛り上げるための活動を行っています。

昨年3月には、市と協働で、駅周辺のごみ拾いの後、日永小学校でクイズを行う「内部・八王子線に乗ってウォーキング&クイズ大会」を実施しました。市民グループに地元の染色工場で染織した布でエコバッグを手作りしてもらうなど、沿線のみんなでイベントを作り上げました。

公共交通を盛り上げていくためには、市民と行政が協力して進めていくことや、PR時の四日市全体で統一されたイメージづくりが大事だと考えています。公共交通のファンを増やすために、私たちも積極的にアイデアを出していきたいと思っています。



NPO法人四日市の交通と街づくりを考える会
井村 昌広さん



日永で花と夢を育もう!
(大瀬古町 子供と地域の環を育む会)



近鉄内部線 ワイン列車
(洋風食堂モンヴェール、とろすばうつべ四日市店)



内部・八王子線に乗ってウォーキング&クイズ大会
(NPO法人四日市の交通と街づくりを考える会)

意識を変えて、行動に移そう

これからの公共交通を維持していくためには、公共交通を自分たちの手で守っていく雰囲気づくりが必要です。渋滞や環境、健康問題に配慮して、自動車に頼る生活から、自動車と公共交通を賢く使い分ける生活へと方向転換していきませんか。意識を変えて、行動に移していきましょう。

編集後記

コミュニティバスの取材時には、「このバス、本当に便利よ。みんなに伝えて」など、利用者の皆さんから声をかけていただきました。数十年後、自分が自動車を運転できなくなったときも公共交通が続いているよう、日ごろの生活を見直して、率先して公共交通のユーザーになろうと思います。(都市計画課 大原、広報広聴課 堀田)

頼れる
まちの

消防団



市内には、災害が発生した時に出動する消防分団と、水防活動や昼間時の災害対応などにあたる機能別団員があり、それぞれの地域にあった防災活動を行っています。地域住民の安心と安全を守る重要な役割を担う消防団に皆さんも参加してみませんか。



情報交換が自然に行われているので、仕事などに生かせるのがいいですね

南楠分団 加田 武徳さん

消防団に入っていた父親の意志を引き継いで、地域に貢献したいという思いを持ち、18歳で入団しました。活動を続けていくうちに、地域の子ども会などさまざまな団体活動に自然と関わようになっていきました。消防団も地域の中にあり、さまざまな職種、経験を持っている人の集まりなので、協力し合いながら、同じ方向を向いていけるように心がけて活動を続けていきたいと思っています。

消防団とは？

消防団は地域密着で防災に取り組む消防機関で、18歳以上の健康な人であれば誰でも入団することができます。

現在市内では、約600人の消防団員が、本業の仕事などをしながら、消防活動や防火・防災啓発活動を行っています。



八郷分団では、学生の団員も活躍しています



生活の中で生かせる身近な防災の話をいきいきサロンで話したりしています

日永分団 渡辺 晴美さん

地域マネージャーをしているときに、分団長からの誘いを受け64歳で入団しました。入団当初から続けている出初式のはしご登りの乗り手も、女性で構成するサルビア分団員の演技を見てやってみたく思っていたので、すぐに立候補しました。他の人に迷惑が掛からないよう気を付けながら、同年代の人たちに勇気と元気を与えられるよう活動を続けていきたいと思っています。

消防団をやってみたくと思ったら、消防救急課地域安全係まで

●「まるごとよっかいち」のサイトの広報紙のメニューを起動して、「消防団」のロゴにスマートフォンなどをかざせば消防団に関する動画が見られます ※無料アプリ「junai0」が必要です

市政への 満足度は? 期待するものは?



市は、行政上の課題や市民生活上の問題点について、市民の皆さんの声をお聴きし、市政に反映していくために、昭和48年度から毎年、市政アンケートを実施しています。今回も、市政各分野の満足度・期待を中心にお聴きし、多くの皆さんから回答をいただきました。本年度の結果のあらましをお伝えします。

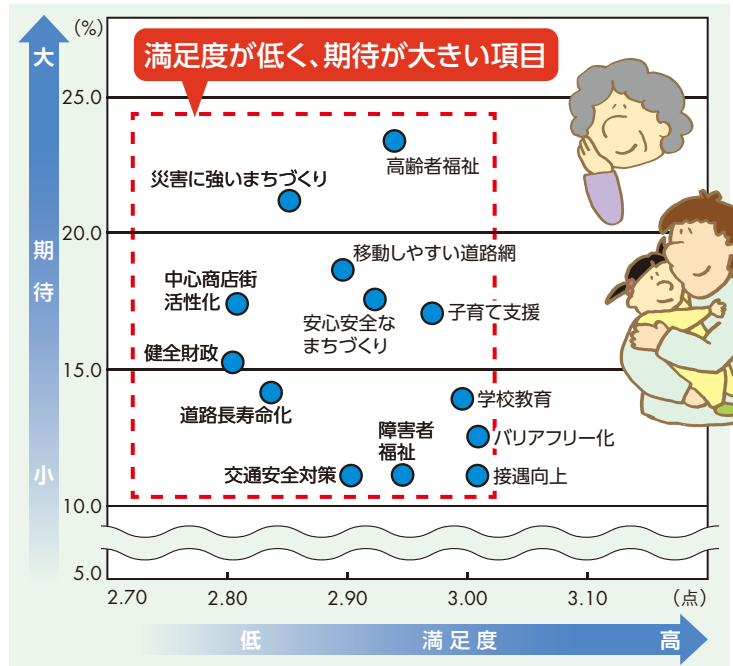
〈アンケートの概要〉
対象：市内に居住する20歳以上の5,000人(無作為抽出)
期間：平成26年8月18日～9月6日
回答数：1,936人(有効回答率：38.7%)

特に求められる「福祉の充実」や「子育て支援」など

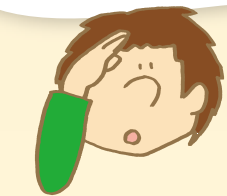
今回のアンケートでは41項目中13項目が「特に求められている施策」に該当し、高齢者・障害者福祉の充実、子育て支援の充実、バリアフリー化の推進など、昨年同様、福祉関係の項目が多く入りました。また、防災対策に関連した「災害に強いまちづくり」は、昨年同様、期待する声が多くありました。

特に求められている施策への取り組み例 〈子育て支援への取り組み〉

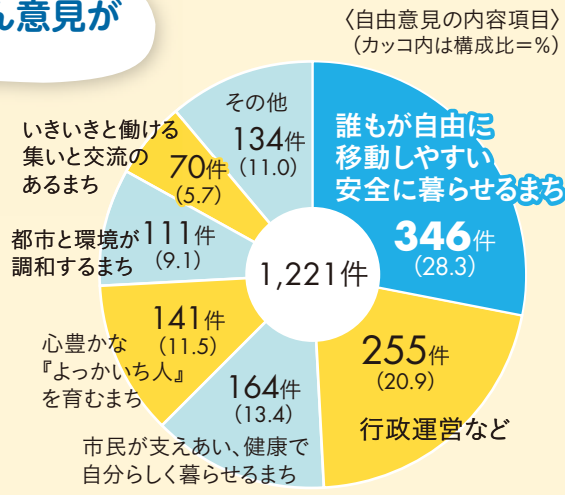
現在、0歳～小学校卒業までの入院・通院に掛かる医療費と中学生の入院分の医療費が助成の対象となっていますが、9月からは、中学生の通院分も対象になる予定です。



自由意見へもたくさん意見が寄せられました



回答者の4割にあたる782人から合計1,221件のご意見をいただきました。
(注)割合は四捨五入で表記しているため、合計が100%にならない場合があります



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

アンケート結果の速報値は昨年10月に全所属に周知し、予算編成の参考としています。最終的にまとめたアンケート結果は、今後の市政運営に生かしていきます。アンケート結果の詳細は、市ホームページ、または、市政情報センター、各地区市民センターおよび楠総合支所でご覧いただけます。





老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
放送日時：2月11日～3月10日 9:00・19:30

○唄を多くの人に届けたい

鯨船の唄には、港を出た船が鯨のいる場所まで向かう間や帰港中の「櫓こぎ」の世間話を表現した「流し唄」と、鯨を発見して追いつめ、仕留めた後に大漁を祝うまでの「役唄」があります。



演技の休憩の間に「流し唄」をうたう武内さん

実際に漁に出ていた昔に思いをはせ、当時の様子を再現できればと考えながら唄をうたっています。また、より多くの人に届くよう、人一倍大きな声でうたうよう心がけています。

富田の鯨船は4艘それぞれうたい方も少しずつ違います。その違いにも興味を持って聞いて欲しいですね。

○女性初の太鼓叩き

弟が「はだし(※)」として鯨船に乗るのを見て、自分も乗ってみたいと思い、太鼓を叩く役に立候補しました。女性が太鼓を叩くのは初めてのことだったそうです。ばちを振るうのは大変で、手にまめができて、血がにじむ



昨年の夏祭りではちを振るう山本さん

こともあります。船の上で太鼓を叩くことは楽しいと感じています。これからもこの役を続けていきたいと考えています。

※船の上で踊る役のこと



山本彩映さん・武内 崇さん

富田地区の代名詞の一つ「鯨船」。地区には4艘の鯨船があり、それぞれ大切に受け継がれています。今回は、そのうちの1艘「神社丸」に携わる若手のお二人にお話を聞きました。

○地区の宝を守り、つなぐ

富田小学校では3年生で鯨船について習います。

このように郷土の祭り、伝統を守っていくことは、地区の結束を強くすることにもつながります。

これからも鯨船を大切に守り、さらに次の世代にも引き継いでいきたいと思っています。



富田小学校での総合的な学習の時間の発表

「鳥出神社の鯨船行事」を ユネスコ無形文化遺産に

毎年8月に「とみだの夏祭り」の中で催される勇ましい神事。平成26年3月に文化庁がユネスコへ、無形文化遺産への登録申請をしました。(審査は平成28年の予定)



昨年の様子。神社丸のほか、神徳丸、感應丸、権現丸の4艘すべてが鳥出神社にそろいました

有料広告掲載欄

リハビリテーションスタジオあすか(通所介護)

訪問看護リハビリステーションあすか 居宅介護支援事業所あすか



リハビリと介護予防(転倒予防)の為に通所介護を希望される方、ご自宅での訪問看護を希望される方はご相談ください。

四日市市赤堀南町6-7 059-340-6700 <http://hokusei-you.net/asuka/> 合同会社 HABILIS

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



背後圏産業を支え、人々の憩いの場としても活用されている四日市港の魅力をお伝えするコーナーです。

海に見える大きな芝生広場「富双緑地」



花火大会の会場としてにぎわう富双緑地。また、その広いスペースを生かし、毎年恒例の四日市花火大会のメイン会場として利用されるほか、たこ揚

震地区にある緑地・公園の中でも「富双緑地」は一番広大で、9.6ヘクタールの広々とした芝生広場や桜の森をはじめ、散策路やテラスが整備されています。

げ大会やフリーマーケットなども開催されています。芝生が敷き詰められているのでグラウンドゴルフやランニングにも最適です。ぜひご利用ください。

また、海に直接面しているので海を身近に感じられ、夜には海岸沿いのプロムナードから震地区の夜景を一望できます。

その他、年間を通じてたくさんの種類の野鳥が訪れ、冬の時期は、ウミネコやカワウなどの鳥も多数見ることが



ウミネコ



カワウ

できます。平成24年の調査では、秋から冬にかけて約40種類の鳥類（渡り鳥含む）が確認されました。

皆さんも一度、バードウォッチングを楽しんでみませんか。

問い合わせ先

四日市港管理組合 振興課
☎366-7022 FAX366-7025



© 四日市市選挙管理委員会 GY

今年4月に行われる統一地方選挙（県知事・県議会議員・市議会議員選挙）に向けての選挙啓発コーナーです。

一般的に選挙は、それぞれの選挙ごとに日程が決まります。ただし、4年に一度、首長や地方議会議員のうち一定期間に任期満了を迎えるものについては、全国で統一した日程で選挙が実施されます。この選挙が「統一地方選挙」といわれます。

四日市市では、三重県知事、三重県議会議員、四日市市議会議員の3つの選挙が4月に集中して行われます。皆さん忘れずに、投票へ行きましょう。

問い合わせ先

選挙管理委員会
☎354-8269 FAX359-0286



素顔のまま

鍋で温まりたい季節ですね。鍋に入れる野菜の見分け方は、どのようにしていますか。

野菜本来の味を楽しむために、葉の鮮やかさや色、食感など素材を知ることが大切です。

選挙における候補者を知るためには、投票日の2日前までに届く「選挙公報」が必要です。

きっと、素顔のままの候補者に会えるはず。このまちにとって、大切なことや候補者の熱い思いに耳を傾け「さあ！選挙へ」

統一地方選挙
キャッチコピー

『投票で みせる街への 愛着度』

有料広告掲載欄

『交通事故・借金問題・相続・離婚・不動産・その他法律問題』でお困りではありませんか？

借金 借金が困っています。会社やお店はどうすればいい？

交通事故 保険会社の対応に納得できません。これからの交渉はどうすればいい？

相続 遺産分割の話合いが難しいです。

離婚 調停や裁判の対応の仕方がわかりません。

「安心してご相談ください！
お一人お一人私が丁寧に
対応します！」

まずはお電話ください！

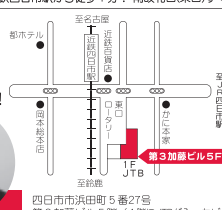


尾市法律事務所
弁護士 尾市淳二 (三重弁護士会所属)

☎《予約制》059-350-2080
(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

◆土曜日や夜間も対応可(要予約)◆
◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆
◆一般法律相談料(初回)30分 5,000円(税別)◆

近鉄四日市駅から徒歩1分！南改札口(東口)すぐ！



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



～「ロコモ」あなたは大丈夫?～

「階段を上がるのがつらい。」「最近、つまずくことが増えた。」もしかすると、それはロコモかもしれません。

「ロコモ」とは、加齢や生活習慣によって、筋肉や骨、関節などの体を動かすために必要な運動器が弱くなり、「立つ」「歩く」など日常生活に何らかの支障をきたしている状態です。

あなたがキラメキ健康づくりのヒントをお伝えします。今月は「ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ）」についてです。

症状が進行すると、介護が必要になったり、寝たきりになる危険性が高くなります。

【ロコモ予防のポイント】

①こまめに体を動かす

骨や筋肉の量のピークは20～30歳代です。早ければ40歳代で症状が出始めます。「まだ若いから大丈夫」と油断しないで、まずは1日10分、今より多く運動することから始めましょう。

②姿勢を見直す

美しい姿勢を保つことは、筋力を使います。日ごろから胸を張り、背筋を伸ばした姿勢を意識することで、

無理なく筋肉をきたえましょう。

③バランス良く食事を取る

太り過ぎは関節への負担が増え、やせ過ぎは筋肉が減ります。バランスの良い食事を心がけ、骨や筋肉を丈夫に保ちましょう。

④小さな痛みを放置しない

膝や腰に痛みを感じたら、体からのSOSサインです。無理をしないで、早めに受診しましょう。



問い合わせ先

健康づくり課

(☎354-8291 FAX353-6385)



「ちえふろう」は、市民・消費生活相談室のイメージキャラクターです。

～中古車購入トラブルにご注意を!!～

【相談事例】

販売店で、中古車を現金で購入する申し込みをし、注文書に署名した。

翌日、他店でさらに気に入った中古車を見つけたので、キャンセルを申し入れると「購入代金の10%の違約金がかかる」と言われた。支払わなければならないのか？

市民・消費生活相談室に寄せられた相談から、安全・安心な消費生活を送るために役立つ情報をお知らせします。

【アドバイス】

自動車にはクーリングオフ制度の適用はありませんが、契約成立前であれば、自由にキャンセルでき違約金は不要です。自動車購入の契約成立時期は、日本中古自動車販売協会連合会などの標準約款が用いられている場合、現金取引では①登録日②改造や修理等に着手した日③引き渡し日のうち最も早い日、とされています。ただし、店が独自の契約書を使用していて申し込みと同時に契約が成立してしまっている場合は、この限りではありません。また、キャンセルによって生じた損害（車庫証、

明申請実費など）は支払いが必要となることがあります。

トラブルを避けるには、事前に販売業者についてしっかり情報を収集し、注文前に契約条項をよく確認することが大切です。

しっかり調べてね!



■この記事に関する問い合わせ先
市民・消費生活相談室
(☎354-8147 FAX354-8452)
■消費生活に関するご相談は・・・
相談専用電話 ☎354-8264
受付日時 月～金曜日
(祝日・年末年始を除く)
9:00～12:00、13:00～16:00

| | | | | | |
|---------------------|------------------|---------------------|------------------------------------|-----------------|--|
| 有料 広告 掲載 欄 | くわしん | がんばる子供達を 応援します!! | 入学金を始め、授業料や留学費用、 借換にもご利用いただけます。 | 桑名信用金庫 | |
| | 教育 ローン | 固定 金利 | 最下限金利 年 1.6 % | | 羽津支店「サンデープラザ」 ローン相談会開催中 毎月第2・第4日曜日 午前10時～午後4時 ※インターネットでローンのお申し込み |
| | 四日市西支店 ☎351-2577 | 生桑支店 ☎332-8181 | 羽津支店 ☎332-2233 | 大矢知支店 ☎364-3311 | 川越支店 ☎364-8811 |

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



いくわがまつ 生桑長松神社の大鏡餅神事 (1月2日 三重地区)

早朝に、鏡宿と呼ばれる当番の家を出発した特殊な形状の鏡餅が、新成人を中心とした青年たちによって、生桑長松神社に奉納されました。神事後、太鼓の合図で拝殿から持ち出された大鏡餅は切り分けられ参拝者に振る舞われました。



男性限定 メンズのためのシンプル パワーヨガ体験会 (1月8日 内部地区)

皆さん初心者で苦労しながらも精いっぱいポーズをとっていました。終わった後は充実した表情でした。このヨガ体験会は楠地区と合同で1～3月に全6回行われます。



表紙こぼれ話

今年度の表紙のテーマは、「四日市の文化財」です。



諏訪公園の一角に建つ旧四日市市立図書館(国登録有形文化財)は、本市を代表する近代建築物です。昭和4年に四日市の事業家熊澤一衛が建設し、図書2,000冊とともに本市に寄贈したもので、昭和48年まで図書館として使われていました。

鉄筋コンクリート造2階建て屋上ペントハウス付きの建物は、大正末から昭和初期の公共建築に多いデザインで、褐色のスクラッチタイル張りの外壁は当時の流行を採り入れています。

この歴史ある建物は、すわ公園交流館やこどもの家として活用され、今も市民に親しまれています。

現在、諏訪公園では、「すわ公園から光の贈りもの」と題した冬恒例のイルミネーションを実施しています。電飾に彩られ、昼間とは違った建物の趣を楽しんでいただけますので、ぜひお越しください。



諏訪公園のイルミネーション
2月14日(土) 22:00まで

問い合わせ先 広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

広報紙で動画を見よう

下のQRコードを読み取って、オリジナルアプリ「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね!



四日市市のゆるキャラ® 「まるごと四日市」のサイト「こにゅうどうくん」



●「まるごと四日市」のサイトの広報紙のメニューを起動して、この「こにゅうどうくん」のイラストや表紙の「広報よっかいち」のロゴにスマートフォンなどをかざせば動画が見られます。今月号は、8ページのロゴ(「AR」マーク有)でも動画をお楽しみいただけます。

※利用には無料アプリ「junaio」のインストールが必要

有料広告掲載欄



みんなの声に
こたえる
賃貸!

UR賃貸住宅

※に、ルネサンス
UR 都市機構

UR賃貸 中部 検索

社宅もUR!

1戸からご契約いただけます!

4ナイメリット

礼金
0円

手数料
0円

更新料
0円

保証人
不要

笹川 近鉄「近鉄四日市」駅下車
三交バス20分「笹川9丁目」駅徒歩1分

- 家賃 / 34,200円～54,100円
- 間取り / 2DK～3DK
- 住宅床面積 / 38.16㎡～60.47㎡
- 共益費(月額) / 1,900円
- 駐車場 / 5,940円/台
- 四日市市笹川八丁目45-1他
- 完成年月 / S45.4～S50.9



笹川モデルルーム公開中

☎0120-94-4762

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



トッキーの 市政トーク

四日市市長
田中 俊行

皆さん、こんにちは！トッキーこと、市長の田中俊行です。

今回は、まちづくりに関する「アイデアオリンピック」についてお話しします。

私も、市長に就任後、産業・教育・文化・観光などの分野で、自分自身のアイデアを生かして政策として実現してきましたが、私や市職員のアイデアだけでは限界があります。

そこで、中心市街地活性化策、文化・観光振興策など、“四日市のまちづくり”について、市民の皆さんからアイデアを募集しました。

まちづくりに関する「アイデアオリンピック」

市民の視点から、自由で斬新なアイデアを寄せていただこうと実施したところ、計41件のアイデアをいただきました。

例えば、市民の皆さんに、市政や市の魅力などへの関心を持ってもらうため、まずは子どもに“四日市かるた”を普及させたらどうかという提案。

また、JR四日市駅周辺の活性化策として、JRとの合意が必要ですが、駅前広場に市民が憩える場所を確保し、駅の中に、特産品であるお茶やそうめんをPRするスペースを設けるという提案もありま

した。その他にも、コンビナートの夜景やとんてきなどのLINEスタンプを作成してシティセールスに活用する、中心市街地にそば打ちやピザづくりの体験道場を設けるなど、バラエティーに富んだ提案をいただくことができ、大変感謝しております。

こうしたアイデアも参考にしながら、「みんなが誇りを持てるまち四日市」を目指し、元気で魅力あるまちづくりを進めてまいります。



四日市のことが遊んで学べる“四日市かるた”

生活を支える上下水道

先日、四日市市指定上下水道工事業者協同組合の設立50周年記念式典に出席しました。

50年前というと、東京オリンピックが開催され、東海道新幹線が開通するなど、まさに日本の高度経済成長が軌道に乗りつつあった頃です。それから半世紀にもわたり、組合加盟事業者の皆様には、上下水道の普及・整備を通じて本市に貢献していただいております。

上下水道は、産業の発展や市民の便利で快適な生活を支える重要な都市基盤です。これからも、整備



式典で祝辞を述べる市長

を着実に進めるとともに、築き上げてきた上下水道を適切に維持管理し、さらには、災害にも強い施設づくりを目指してまいります。

災害時における報道に関する協定

三重エフエム放送株式会社と「災害時における報道に関する協定」を締結しました。

この協定は、市内で地震や風水害等の災害が発生または発生が予測される場合に、災害情報を市民の皆さんに迅速に伝達するという趣旨の協定です。

今後は、従来から行っている緊急告知ラジオの起動による情報の伝達に加え、市内の被害状況やライフライン、避難に関する情報等を三重エフエム放送の番組の中で放送できるようになります。

災害時に、市民の皆さんに適切な行動をとっていただくためには、信頼性のある情報を迅速に発信していくことが重要です。

市民の生命最優先の方針のもと、被害を最小限に食い止めるため、より災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。



三重エフエム放送社長(右)と市長

ト
ピ
ッ
ク
ス

スマホ、タブレット、PC、使いこなせずに、困っていませんか？

お宅へ訪問、レッスン・サポートいたします。ご自身のマシンで習得できます。

たとえば、訪問指導 50分 2,000円、PC・スマホ初期設定 20,000円、出張費 1,000円 (すべて税込)



6月末までキャンペーン価格です！

詳しくはお問い合わせください。
障がい者の方、高齢者の方、対応可能です。
<http://hompo.jp/>

システム本舗えふ

512-0921 四日市市尾平町 3768-107
TEL:050-5879-3315/090-7315-2023

このほか、トラブル対処、講習会講師、ITに関するコンサルタント、ホームページの作成、フォトブックの作成など請け負います。

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,688人 [12月末日現在(前年比-448)] ■火災件数 13件 [12月分(前年比+7)] ■交通事故件数 1,134件 [12月分]

有料広告掲載欄

「広報よこかいち」は再生紙と植物油インキを使用しています。不要になったらリサイクルへ

UD FONT

豊やすいエンターナル
デジタルフォントを
採用しています。

印刷 富士印刷株式会社